

社会福祉法人ぶるーむ
令和6年度事業報告書

社会福祉法人ぶるーむは、障がいを持った子どもたちの自立とそのご家族の笑顔をサポートすることを理念に、お子様の成長にあわせて、切れ目なく一貫した支援ができる体制を整えています。

また、障がいや疾患の有無に関わらず皆さまにご利用いただける交流スペースを備えた施設など、地域に住む方々がゆるやかにつながることができる居場所づくりを目指しています。

「ぶるーむカフェ」、子ども食堂「ぶるーむクラブ」、まちの保健室「風らっとルーム」ぶるーむのお祭り「笑福祭」等の取り組みが地域において、人と人、人と資源が世代や分野を超えて繋がり、普段の暮らしの中で穏やかに支え合う社会の実現に寄与し定着してきていることを実感しています。また今年度は、ぶるーむのスタッフ全員の安心・安全を第一に働きやすい職場づくりとして、「産業医の配置」、「ハラスメント防止規程」、「カスハラに対する法人の方針」、「育児・介護休業規程の改正」等の規程や環境整備に取り組みました。

施設所在地

ぶるーむの森

〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1

児童発達支援 ひだまりっこピーチ

〒277-0084 千葉県柏市新柏3-3-8石塚ビル1階

共同生活援助 風の木

〒277-0921 千葉県柏市大津ケ丘1-43-7

地域生活支援拠点 ぶるーむの風

〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1

ぶるーむの風診療所

〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1

1. 各事業所テーマ

児童発達支援 ひだまりっこ	○子ども達と支援者が並走しながらめざす目標は何かを考え、マンツーマンの療育という表現を見直します。成長していく中で、マンツーマンが必要な時期、就学にむけて集団活動の経験を積む時期等、年齢に応じた支援があり、どちらも必要な目標とします。 ○地域の中で育つ機会を作る。異年齢のグループで育ち合う。遊びながら心とからだの土台づくりを支援します。
児童発達支援 ひだまりっこα	・障害の垣根を超え、ひだまりっこと共に活動し社会性を育む療育の提供。 ・医療的ケア児が安心して通い、集団生活ができる場所を目指します。 ・マンツーマンで一人一人に寄り添った細やかなケアと療育を提供。 ・医療・療育・家族看護の3つがそろった、皆さまから信頼される事業所運営。
児童発達支援 ひだまりっこ ピーチ	「異年齢の集まりだからこそ芽生える心」 0歳から3歳まで…ミルクを飲んでいる子から先生と会話ができる子まで… 異年齢のそして様々な個性の集まりです。年少の子は年長の子に憧れ慕い、年長の子は年少の子を思いやり可愛がり、家族と離れた時間に育まれるそんな心を大切にしていきます。

放課後デイサービス ひだまり	・障がいの有無や種別に関係なく、人と関われる場所、安心してホッとできる場所を目指す。 ・小学1年生から高校3年生まで様々な学校の幅広い年齢の子ども達が一緒に過ごし、遊び、関わる中で社会性を育成。 ・保護者にお迎えに来ていただくことで放課後の時間を長時間有意義に過ごすことができ、季節毎の企画やイベントを通じて、日常生活や社会生活をより豊かに送るための様々なスキルを育みます。そしてご家庭では見られない姿を見ていただき、その日の様子をお伝えするなどご家族とのコミュニケーションを大切にしていく。
放課後デイサービス ひだまりα	子ども達がそれぞれの楽しみ方で過ごすことができ、保護者の方々も安心して通わせることができる場所として、子ども達の気持ちを汲み取る、気持ちに寄り添った支援を行う。 主な取組みとして近隣施設との交流、保護者同士の交流、盆踊り&花火大会を行う。
生活介護 オレンジ	高校卒業後の18歳以上の方の生活の場として、それぞれの身体機能・体調・精神状態・特性に合わせた活動の充実を図ります。また製菓や製品作りと販売を通じて、社会参加と貢献を行います。そしてご家族の自由参観を定期開催していきます。
生活介護 オレンジの風	医療的ケアの必要なご利用者を中心に活動。看護師や研修を受けた介護職員により安全で快適な空間を目指す。 ・それぞれの利用者の身体機能・体調・精神状態・特性に合わせた活動の充実を図る。 ・製品作りと販売を通じて、社会参加と貢献を行う。 ・加齢とともに身体機能の低下が顕著な方が増えてきたので、個々に検証し必要であれば介助方法の見直しをご本人とご家族に相談しながら、専門職と連携をとって進めていきます。
居宅支援 アライブ	・ご本人、ご家族や介護者に信頼していただける事業所を目指し、きめ細やかな対応を心がける。 ・医療的ケアに対応できる事業所として、安全なケアを提供できるよう他事業所と連携を図る。 ・ヘルパーが安心して働くことができるよう、連絡体制を整え日々の訪問をバックアップする。
ぶるーむの風 相談室	柏市相談支援機能強化・コーディネート事業を受託。柏市地域生活支援拠点として、南部地域の福祉ネットワークを担当。24時間365日、緊急案件等への迅速かつ幅広い対象者への相談支援を行える体制を整えています。また柏市医療的ケア児・者連絡会の事務局運営を通じて、柏市内の支援体制の課題の分析と構築・提言を担います。
共同生活援助 風の木	外部サービス利用型によるサービス提供の知的障がい者グループホーム 一人一人が、その方らしく過ごせる暮らしの場です。 様々な障がいをお持ちの方は、人との関わり方も自由で多様です。 お互いがその特性を自然と受け入れて心地よく生活をしていただける場を提供していきます。
共同生活援助 ぶるーむハウス	医療的ケアにも対応できる重度心身障がい者が暮らすグループホーム ご利用者、ご家族、スタッフの皆が心身ともに安心できて、笑顔で過ごすことのできる場所づくり・・・困難なことや新たなことにも、どうすれば皆の笑顔につながるのかと、共に考え、乗り越えてゆけるチーム作りを目指します。 ヘルパーの増員、専門性を高められるような取り組み、ぶるーむの風診療所との連携、感染対策の継続、災害及び緊急時対策、ぶるーむハウスの様子について発信。 「365日24時間ハウスはご利用者のおうちです」を叶えたい。
ぶるーむの風 診療所	「まちのかかりつけ医」として子供から大人まで、ご家族みんなの健康を支える。 小児神経および発達障害の専門医として発達障がい専門外来日を設けている。 診療科目：小児科・発達外来、内科、予防接種、乳児健診 また発熱外来、PCR検査、ワクチン接種など地域の感染予防対策の一翼を担う。

2. 主な取組み

児童発達支援 ひだまりっこ	○マンツーマン療育から、小集団療育へ。共に育ちあう療育への取り組み。 利用者自身の成長と支援者の大きな成長がみられた。 ○地域の中で育つ機会を作る。 異年齢のグループで、遊びながら心とからだの土台づくりを支援する。 遠足、保育園交流、外出、ぶるーむ内交流などインクルーシブ地域移行支援に取り組んだ。
児童発達支援 ひだまりっこα	・医療的ケア児を積極的に受け入れ、保護者の就労を支援。（現在4名） ・就労支援のための時間延長（9～15時）を受け入れた。 ・保護者支援のための昼食デリバリー利用選択（ペースト食）。利用4名。 ・保護者会の開催（兄弟児も参加できるように、体育館貸し切りでスポーツ大会とした。） ・保育園交流の参加。 ・ひだまりと共同開催の花火・盆踊り大会開催。 ・救急救命講習開催。
児童発達支援 ひだまりっこ ピーチ	○リトミック・楽器遊び。 ○マット・パラバルーン等を使った身体を使う遊び。 ○徒歩でお散歩（マンツーマンでピーチ裏の公園）。 ○地域交流（新柏駅・郵便局・交番他）。 ○オレンジ、オレンジの風との交流（勤労感謝の日・クリスマス）和紙を使用した敬老製作。 ○papas' 保護者会。
放課後デイサービス ひだまり	・野菜づくり、収穫・・・ミニトマト、えんどうまめの栽培。 ・パネルシアターの種類を増やす、利用者様参加型。 ・日常生活のルールを遊びに変換して、体験できる活動の実施。 ・外出レク（柏にインクルーシブ公園ができれば是非）。 ・新しい活動（影絵・合奏・簡単な玩具制作）の実施。 ・柏特別支援学校への送迎の週1から週2へ増便。…（月）（水）に
放課後デイサービス ひだまりα	【地域交流】 ・中原中学校オーケストラ部による演奏会を、夏休み・冬休みの計2回実施。 ・東武ストアでの買い物体験の実施。 【外出】 ・夏休みに、水の館プラネタリウムとアリオ柏への外出。 【環境整備】 ・オレンジの排泄介助室を共用できるように改修工事を実施。 ・ぶるーむを支援する会からの寄付金で購入した除湿器で湿気対策を行う。
生活介護オレンジ	・新型コロナ禍以降自粛をしていた外出活動を再開した。 初めて外出活動に参加するご利用者が複数いたが、活動全般の幅を拡げることに繋がる。 ・引き続き感染予防対策を講じながらの活動を継続しつつ、室内で行える活動を定期的に設けることで、ご利用者に毎月楽しみにしていただいている。 ・日々の制作活動は定着しており、制作物を安定して供給できる体制ができた。

生活介護 オレンジの風	・小グループ毎に他事業所の生活介護に外出し、半日一緒に活動や会食を行った。 ・ハウス職員による食事介助のヘルプや看護師の不足時、他部署との連携強化を図れた。 ・製品作りでは質の高い製品が作れるようになり、予約注文が多数あり。 ・個別支援計画のフォーマット変更に伴い、ご家族又はご本人の活動への期待や希望を再確認し、全スタッフに共有。
居宅支援アライブ	新規契約 5件 ・移動支援 (社会参加型2名 通学支援型1名) ・医療的ケアのある小児 1名 ・精神障がいのある方 1名 ヘルパー獲得について ・男性1名 (風の木対応) ・女性2名 (ハウス対応)
ぶるーむの風 相談室	・相談員の業務環境維持改善および心理的安全確保のために、法人全体と連動してカスタマーハラスメント対策の見直しを行った。(名刺から業務用携帯電話の情報を削除、新規ケース対応は相談員2名で対応。ケース共有のために毎週の事例ミーティング実施) ・カスタマーハラスメントに関し市障害福祉課、保健所、基幹相談支援センター等との連携体制を確認。またその中で感じた課題や体制の不備について、自立支援協議会相談支援部会や四拠点会議等の機会に提言を行った。
共同生活援助 風の木	1. 日常生活について：食事・排泄・入浴・着替え、整容等、個々の特性に必要な支援を提供。 2. 食事について：個々の食形態に合わせた食事の提供。 3. 健康管理等：利用者様に体調等の異変がある場合には、保護者に連絡をするとともに関係するサービス提供事業者等と連絡・調整を行った。 4. 相談援助等：利用者及びご家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し個別面談等を通し、適切な助言・援助を行うことができた。 5. 環境整備：災害時対応マニュアルの見直し、持ち出し情報の更新、備品の購入等準備。 ：また、経年劣化による設備の修繕とより働きやすくする為の物品購入の検討。 ・土曜日開所は、希望者少数のため未実施。ご希望に応じてスタッフを手配し日中支援を実施。
共同生活援助 ぶるーむハウス	1. ヘルパーの増員 ①必要な研修を設け、新しく医療的ケアの必要なご利用者に対し資格取得者の育成を行った。 ②ヘルパー事業所との連携を適宜行った。現在6事業所と契約(合計29名のヘルパー) 2. 専門性を高められるような取り組みを行う。 ①喀痰吸引等研修(3号)⇒新しい医療的ケア1名に対し、職員3名 ヘルパー7名が取得。 ②緊急時対応マニュアルの作成と、緊急対応研修・嘔吐時の感染対応の訓練研修を実施。 3. ぶるーむの風診療所との連携。(継続) 4. 感染対策 コロナ感染者2名がハウス内で療養し、対応の中でマニュアルのブラッシュアップに繋がった。 5. 災害時及び緊急時対策 災害時の福祉避難所の役割訓練のために、市主催の研修へ1名参加。 6. ぶるーむハウスの様子について発信 千葉県グループホーム講座研修へ、ハウスの様子について、発信した。 7. 「365日24時間 ハウスはご利用者のおうちです」をかなえるために GW明けから、日曜日夕方からの開所を行った。(利用者数は7名中5名)

短期入所 ぶるーむハウス	1. 対象者に対応できるよう3号研修修了者の育成を行う。 2. ご利用者のニーズに対して、法人全体で支える仕組みづくりを行う。 ① ご利用時に、「日中に生活介護オレンジを利用し、ハウス宿泊、その後再度オレンジをご利用し帰宅するケースが1件定着した。 ② 緊急利用の方の常日頃の状態をよく把握しているアライブと連携出来た。 3. その他 ① 実際の利用月の日数より、希望者数及び宿泊日数の方が多い月が増えた。 ② 安心安全にご利用いただく為の調整。 ③ 新型コロナが5類になり、ご利用を控えていた医ケアの方からの利用希望が増えた。
ぶるーむの風 診療所	・一般小児科診療、発達外来、健診、予防接種などの通常診療を継続した。 ・コロナ以降流行が少なかったインフルエンザや溶連菌などの発熱外来対応の感染者患者や軽症の感冒の受診者数が増加し、日によって繁忙になることもある。 ・地域の診療所として認識され受診患者が維持されていると考える。 ・院長は柏市医師会理事（任期2年）になり、予防接種、定期健診、思春期保健、児童福祉部門専門など各種の市の保健行政に関わる業務に携わるようになった。 ・常勤看護師がふらっとるーむとのタイアップで子育て相談を実施した。

3. 利用実績

事業所名	開所日 数(日)	1日平均(人)			利用者人数(人)			延利用人数(人)		
		06年 度	定 員	06年 度	前年 比	05年 度	06年 度	前年 比	05年 度	06年 度
児童発達支援 ひだまりっこ	268	10	9.9	107%	29	31	108%	206	220	107%
児童発達支援 ひだまりっこα	225	5	2.7	93%	8	6	76%	55	51	92%
児童発達支援 ひだまりっこP	224	10	7.5	105%	23	18	79%	129	139	108%
放課後デイサービスひだまり	274	10	7.2	112%	39	37	95%	147	163	111%
放課後デイサービスひだまりα	231	6	7.3	98%	34	36	106%	143	140	98%
生活介護 オレンジ	278	20	16.2	102%	20	20	100%	376	375	100%
生活介護 オレンジの風	239	20	11.6	113%	19	20	104%	223	230	103%
日中一時支援 くりーむ	—	—	—	—	14	13	91%	36	36	100%
居宅支援 アライブ	—	—	—	—	50	46	93%	333	368	111%
ぶるーむの風相談室	—	—	—	—	93	95	103%	—	—	—
共同生活援助風の木	—	—	—	—	6	6	100%	156	162	104%
共同生活援助ぶるーむハウス	—	—	—	—	7	7	100%	172	183	107%
短期入所ぶるーむハウス	—	—	—	—	33	42	128%	87	93	107%
合 計	—	81	62.2	105%	375	378	101%	2063	2161	105%

4. 主な行事実績

	法人	ひだまりっこ	ひだまりっこ アルファ	ひだまりっこ ピーチ	ひだまり ひだまりα	オレンジ オレンジの風
4月	笑福祭	入園・進級行事(手型・足型)	入園・進級行事(手型・足型)・個別支援計画	感覚遊び(新聞紙・泡等)・保護者会	調理活動・お花見・スタンプラリー・ストラックアウト・壁面制作	入所式・調理・レク・デリバリー・自由参観
5月	理事会	徒歩遠足・公園遊び・保護者向け研修会	徒歩遠足・公園遊び・保護者会・保護者向け研修会	戸外遊び・感覚遊び(ボールプール)・保護者会	紙コップクレーンゲーム・母の日制作・個別面談(4/23～6/24)	前期個別面談・避難訓練・スタッフミーティング・自由参観
6月	評議員会	レク大会・個別面談・保護者会	レク大会・レク遊び	光遊び・個別面談	・リトミック・お買い物ごっこ・父の日・七夕制作・魚釣りゲーム	調理・レク・デリバリー・自由参観
7月		水あそび調理(ゼリー)	水あそび・調理(ゼリー)	水遊び・保護者会(親子でリトミック)	パネルシアター・パン屋さんごっこ・七夕飾り・中原中オケ演奏会	避難訓練・スタッフミーティング・自由参観
8月		水あそびかき氷	水あそび・個別面談・かき氷	水遊び	水遊び・夏祭り・外出(プラネタリウム・アリオ柏)・調理(昼食)・盆踊り&花火大会	調理・レク・デリバリー・自由参観
9月		感覚あそび	感覚あそび・後期個別支援計画	感覚遊び・保護者交流会(papa's保護者会)	輪投げ・制作(敬老の日・壁面)・避難訓練	スタッフミーティング・自由参観
10月		電車遠足ハロウィン	市川動植物園遠足・ハロウィン	戸外遊びハロウィンごっこ	外遊び・運動会・おやつ調理・ハロウィン	調理・レク・デリバリー・自由参観
11月		お芋掘り・音楽あそび・劇あそび・野菜ハロ・勤労感謝	お芋掘り・音楽あそび・劇あそび・野菜ハロ	絵具遊び・地域交流	外遊び・リトミック・調理(勤労感謝の日)・制作(壁面)・保護者研修会・後期個別面談	避難訓練・スタッフミーティング・自由参観
12月		クリスマスケーキ会食・クリスマス制作・年賀状制作・大掃除	クリスマスケーキ会食・クリスマス制作・年賀状制作・大掃除	クリスマス製作・合奏・保護者会(音楽療法体験)	制作(年賀状)・ケーキ会食・Xマス会・ボウリング・調理・中原中オケ演奏会・避難訓練	調理・レク・デリバリー・自由参観
1月		初詣・書初め・ごっこ遊び・調理	初詣・書初め・ごっこ遊び・調理	かきぞめ・ブラッシング	調理(昼食)・書初め・お正月遊び・パネルシアター	書初め・調理・レク・デリバリー・避難訓練・自由参観
2月		個別面談・動物園遠足	個別面談・バレンタインチョコ製作	ごっこ遊び・おひなさま製作・保護者会	節分遊び・壁面制作・調理(バレンタイン)・ストラックアウト	初詣・調理・レク・デリバリー・避難訓練・自由参観
3月	理事会・評議員会	卒園式	卒園式	みんなの好きな遊び・卒園を祝う会	ひなまつり・調理(ホワイトデー)・卒業を祝う会・外出(電車)	避難訓練・スタッフミーティング

5. 研修事業

講 座 名	実施月日	受講人数
喀痰吸引等研修（第3号）	6月 22・23日	8名

6. 職員講習会・研修

講 座 名	実施月	受講人数
救急救命法講習	5月 31日	15名
採用職員研修	7月 7日	10名
管理者研修（江戸川学園 原田講師）	9月 20日	13名
虐待防止研修	3月	全職員
ストレスチェック	10月	全職員
防災・防火避難訓練（各事業所）	年間延べ 80回	延べ1,150名
防災・防火避難訓練（全体）	12月 25日	約100名
感染症対策研修・訓練	9月・1月	全職員
BCP計画に関する研修・訓練	1月・12月	全職員

7. ぶるーむカフェ

解放感溢れるカフェで、子どもから大人まで誰でも自由に過ごせる地域の居場所です。コーヒーや読書や会話など、それぞれの時間を楽しみながら自然にお客様同士の交流が深まります。月1回かたつむりさんのご協力を頂き「おもちゃ図書館」を開催しています。また柏市内の多数の就労支援事業所の農産物、制作物等の委託販売をしています。

8. ぶるーむクラブ（こども食堂）

	年間開催回数	延家族数	延利用者人数	ボランティア人数	合計人数
食事提供	14回	185組	827名	365名	1192名
食材配布	12回	273組	824名	87名	911名

8. 風らっとなるーむ（まちの保健室）

まちの保健室の要素を持ち、気軽にご相談頂けるスタッフもおります。

音楽会や様々な分野の講演会も開催しています。

	年間開催回数	延参加人数
おや親カフェ（不登校・引きこもり当事者とご家族）	12回	162名
育カフェ（子育て中のご家族）	12回	82名
がんカフェ（がん患者とご家族）	12回	90名
子育て相談（小児科看護師による）	36回	120組
個別相談	14回	44名
なかなか聞けない話シリーズ	2回	80名

9. 催事

笑福祭	4月 27日	来場者 約1,000名
-----	--------	-------------

10. 会議体

定例会議

理事ミーティング	毎月	常勤理事
部門長ミーティング	毎月	部門長
部門ミーティング	毎月	各部門内事業所管理者
リスク管理委員会	隔月	感染症対策委員会・業務継続対策委員会・権利擁護委員会・虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会、
衛生委員会	毎月	こころの相談室（月3回）
スタッフミーティング	毎月	各事業所
ヘルパーミーティング	毎月	アライブ

監査・役員会議

監事監査	6月
理事会	6月・3月
評議員会	6月・3月

11. 広報活動

ぶるーむホームページ更新	URL http://bloom.or.jp/
広報誌「ぶるーむ通信」	年3回発行（4・8・1月）
児童発達支援・放課後デイサービス	事業所評価アンケート&自己評価表の公開
地域の庭 公開	柏市カシニワ制度

12. 助成金・寄贈品

助成事業	助成内容
イオン柏店幸せの黄色いレシートキャンペーン	活動用品（オレンジ）
柏こども未来基金	こどもの居場所活動助成金（ぶるーむクラブ）
カシニワ活動助成	地域の庭の維持・整備活動費
中山馬主協会	ひだまり・オレンジ壁面改修工事
イーパーツ寄贈プログラム	リユースPC
清水基金	移動式介護用リフト

13. 公的補助金・助成金

助成事業	助成内容
特定求職者雇用開発助成金（重度障害者）	障がい者雇用
業務用設備等脱炭素化促進事業補助金	ぶるーむの森 照明LED化
柏市こども食堂等支援給付金	ぶるーむクラブ

以上